

# 「打越大橋(うちこしおおはし)」の概要



## ■打越大橋(うちこしおおはし)について

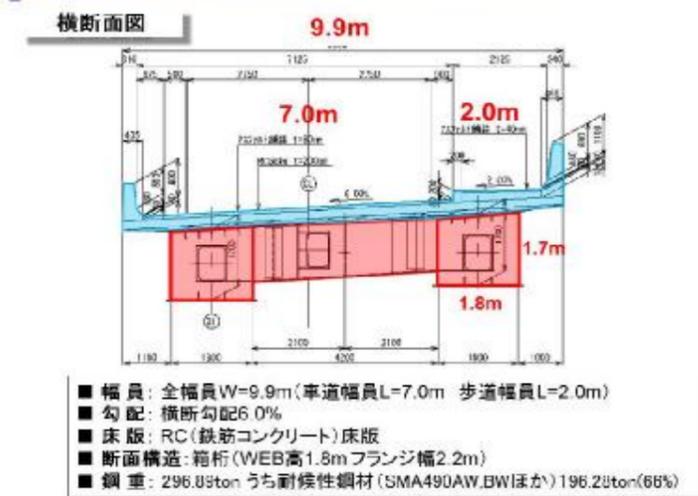
打越大橋は、急峻な谷部を効率的な路線とするために架設する橋梁で、長さ112m、幅9.9m、小井関川からの高さが約30mの曲線橋です。

地形条件等から、架設方法については、日野側から加賀田方面に向かって橋桁を送り出す”送り出し工法”によって施工されました。

桁は四角の箱を2つ並べたような形をしており、複雑な力が作用する曲線橋でも、安定した構造となっています。また、桁に使用した鋼材はおよそ300トンで、その大部分に耐候性鋼材と言われる、さびに強い鋼材を使用しています。橋の名前は、日野地区のみなさんに考えていただきましたが、『橋が架かる地域一帯が、昔から”打越峠”と呼ばれていた』ことから、「打越大橋」と名付けられました。

### 〈工事経過〉

- 下部工 工事期間:平成25年 7月19日 ~ 平成26年3月24日 施工:株式会社 安田組
- 上部工 工事期間:平成26年10月15日 ~ 平成28年1月29日 施工:日本車輛製造株式会社 大阪支店



## 「打越大橋」完成までのあゆみ